

令和2年度

栗田支援学校公開研究会(二次案内)

児童生徒が学びを実感できる授業づくり

～单元・題材の構成や配列の工夫・改善を通して～(2年次計画/2年次)

秋冷の候、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、本校では「児童生徒が学びを実感できる授業づくり～单元・題材の構成や配列の工夫・改善を通して～」を研究主題に掲げ、2年計画で研究を進めております。本研究では、児童生徒が学びを実感できる授業をいかに実現するかという「授業づくり」と、「授業づくり」の基盤となる、教師が児童生徒の学びをよりの確に見取る力を高める「授業研究」に力を入れて取り組んでおります。

なお、2年次研究のまとめの年である今年度は、「卒業後の豊かな生活」をテーマにシンポジウムを開催いたします。本シンポジウムに関しては、本校ホームページ上にて動画配信いたします。

過密を避けるためにモニター等を活用するなど、新型コロナウイルスの感染防止に努めます。御多用中のこととは存じますが、多くの皆様に御参会・御視聴いただき、御助言を賜りたく御案内申し上げます。

令和2年10月

期日 令和2年12月9日(水)

会場 秋田県立栗田支援学校 〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町 10-10

日程

日 程	
8:40～	受付
9:00～ 9:20	開会行事・全体会 全校研究の概要説明
9:30～11:00	提案授業 ○小学部4年 国語科 9:40～10:25 ○中学部1年 生活単元学習 10:10～11:00 ○高等部普通科2年 職業科 9:30～10:20 ○高等部環境・福祉科2・3年家政科 9:30～11:00
11:05～11:30	作業学習製品・学校紹介等の展示
11:30～12:30	昼食・休憩
12:30～14:25	分科会(学部研究説明・授業協議・指導助言)
14:35～15:50	シンポジウム 卒業後の豊かな生活を目指した寄宿舎での学び ～学部との連携や卒業後の生活の場での取組から～
15:55～16:00	閉会行事

校長 千葉雅樹

学部／学科研究の概要及び提案授業について

2年次の学部／学科研究では、児童生徒の資質・能力の育成を目指し、研究対象授業を中心に、各教科等間での関連や系統性のある年間の単元・題材の配列を検討しました。さらに、児童生徒が主体的に学習に向かうことができるよう学習計画を分かりやすく示すと共に、評価場面や評価方法の工夫に取り組んでおります。授業後の協議では、児童生徒が何を、どのように学んでいるかといった「学ぶ姿」に着目し、学びの事実を基に協議を重ね、授業改善を目指します。

小学部研究テーマ

「児童の『思考する姿』に着目した授業づくり」
～国語科における『思考を促す手立ての工夫』を通して～

学部研究概要

小学部では、様々な学習場面において、児童はどのように思考し、どのような表現をするかという児童の「思考する姿」に着目し、日々の授業改善に取り組んでいます。「授業構想シート」の活用、他教科との関連を意識した年間指導計画の立案など、「思考を促すポイント」を意識した授業づくりを全学部職員が共通理解し、行っています。提案授業では、絵本の読み聞かせ場面の「気持ちを表す言葉」を基に、学習した言葉を使った文づくりや実体験をしたり、類似した言葉を考えたりしながら、言葉同士のネットワークをつなげていきます。思考と言葉が結び付いた児童の姿を引き出したいと考えています。

提案授業	小学部 4年 国語科	授業者	指導助言者
たくさんの言葉を見つけよう！ ～おはなしの世界へようこそ～		簾内香緒里	秋田県教育庁特別支援教育課 主任指導主事 清水潤氏

中学部研究テーマ

「自分の学びを振り返ることができるような学習活動の工夫」

学部研究概要

中学部では、自分の学びを振り返る場面や方法などを工夫することで、「こんなことができた」「こんなことが分かった」といった学びの実感や「次はもっとこうしたい」といった自ら次の学びに向かう力の育成を目指し授業づくりを進めています。単元検討を通し、生徒の実態や「期待する姿」を共有することで、振り返りにつながる支援方法やタイミングなど手立てを全学部職員で検討しています。提案授業では、他クラスとの交流祭に向け、みんなが楽しいと感じる内容について意見を出し合います。友達に自分の意見とその理由を伝えたり、友達の意見を聞き、学級の意見としてまとめたりする姿を引き出せるよう、手立ての充実を図ります。

提案授業	中学部 1年 生活単元学習	授業者	指導助言者
中1くりたもりあげ隊 ～中1交流祭でもりあがろう～		小笠原なおみ 山田賢子	秋田県教育庁特別支援教育課 指導主事 近江龍静氏

高等部 普通科研究テーマ

生徒が自分で考え、判断し、活動する姿を目指した授業づくり
～「分かった」「できた」が感じられる手立ての充実～

学科研究概要

高等部普通科では、生徒自身が主体的に考え、判断し、活動する姿を目指し、個々の生徒が「分かった」「できた」が感じられるよう、振り返りや評価の場面、方法を工夫しています。また、学校、学部目標や学年の実態から、各学年、コース毎で生徒の目指す姿や指導にあたっての重点などを学年職員で共通理解し、教科と領域のつながりを意識した単元配列や構成の改善を図りながら取り組んでいます。提案授業では、特に、実習後の自分の成長や学びの手ごたえを実感できるよう、チェックシートや保護者との連携を基に振り返りを工夫します。

提案授業	高等部 2年 職業科(福祉就労コース)	授業者	指導助言者
働くために必要な力③ ～後期実習編～		鈴木崇 熊谷菜子 長谷川舞子	秋田県教育庁特別支援教育課 指導主事 小野武則氏

高等部 環境・福祉科研究テーマ

他者を思い、思考（試行）する姿を目指した授業づくり

～志向を高め、思考し、試行できる学習活動の構成～



学科研究概要

生徒が実習等で困難に直面した際、自ら解決方法を探したり、前向きに行動したりできるよう、日々の学習活動の中で、「なぜできたのか」「なぜうまくできなかったのか」「次にどう生かしていくか」といった思考の場をつくることを大切にしています。提案授業では、「ランチくりた」での校内飲食店実習に向けて、お客様の視点に立った接客技術の向上を目指します。より良い接客をするため、生徒たちが自らの課題に気づき、改善策を見付けるための手立てを工夫します。

提案授業	高等部環境・福祉科 2・3年 家政科	授業者	指導助言者
接客向上会議 ～お客様の立場に立った接客を目指して～		加藤 秀幸	秋田大学教育文化学部 准教授 前原 和明 氏

シンポジウム

卒業後の豊かな生活を目指した寄宿舎での学び ～学部との連携や卒業後の生活の場での取組から～

本校寄宿舎では、豊かに生活を楽しもうとする気持ちを高め、将来の生活に必要な力の育成を目指し、日々取り組んでいます。今年度は、寄宿舎生 20 名のうち 15 名が新規に入舎した生徒ということもあり、これまで以上に学部との連携を重視しています。その結果、寄宿舎で学んだことを学校や家庭で発揮する姿が多く見られるようになるといった成果がありました。同時に、余暇の過ごし方や仲間とのかかわり方など取り組むべき新たな課題も見つかりました。

本シンポジウムでは、卒業後の豊かな生活をテーマに、寄宿舎の「食」を切り口としながら、学部との連携や卒業後の生活の場での取組について話題提供していただきます。卒業後の豊かで自立した生活の実現に向け、今後、学校で取り組むべき内容について考えるシンポジウムを目指しています。

シンポジスト

◇本校寄宿舎職員及び学部職員

寄宿舎での取組や学部との連携について話題提供します。

◇社会福祉法人 緑光福祉会 サービス管理責任者 時岡栄三氏

本校寄宿舎の卒業生が利用している「障がい者グループホーム 太郎と花子」での事例をもとに、卒業後の自立した生活を送るための支援について話題提供いただきます。

◇秋田公立美術大学准教授 安藤郁子氏

秋田公立美術大学の学生さんと本校寄宿舎生との交流や、安藤郁子氏が主宰し、本校の在校生や卒業生が通う「地域活動支援センターアートリンクうちのあかり」での活動を基に、表現するという、豊かに暮らすということについて話題提供いただきます。

<平元美沙緒氏（グラフィッカー）>

シンポジウムの話題の関係性を可視化し、プロセスをアーカイブするためにグラフィッカーとして平元美沙緒氏が参加します。

※公開研究会終了後、本シンポジウムのみ本校ホームページで動画配信いたします。ご多用中のこととは存じ上げますが、多数の皆さまからホームページをご覧いただき、忌憚のないご意見を賜りたく、お知らせ申し上げます。

【参加申込み】

- ・別紙参加申込書に御記入の上、11月16日（月）までFAXでお申し込みください。
- ・今年度はコロナウィルス感染拡大の防止の為、秋田県内の教職員のみとさせていただきます。

【昼 食】

- ・希望される方には、弁当を御用意いたしますので、参加申込書に御記入ください。
(当日、代金600円を集金いたします。)

【会場までの御案内】

路線バス（秋田駅西口前または中央交通新屋案内所）

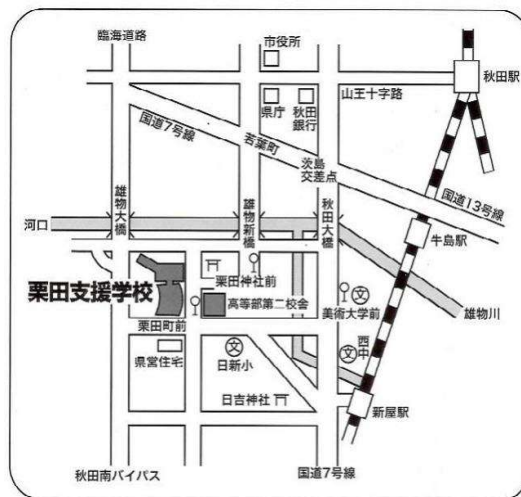
☆新屋西線 栗田神社前下車
(徒歩7分)

☆新屋西線 [栗田県住経由] 栗田町下車
(徒歩1分)

☆新屋線 美術大学前下車
(徒歩15分)

J R

☆羽越本線 新屋駅下車
(徒歩35分、タクシー7分)



【問合せ先】

秋田県立栗田支援学校

教 頭 高田屋陽子
研究主任 北島 珠水

〒010-1621 秋田県秋田市新屋栗田町10-10
TEL: 018-828-1162
FAX: 018-828-4720
Mail: kurita-s@akita-pref.ed.jp

F A X 送 信 票

令和2年 月 日

受信者	秋田県立栗田支援学校 教諭 北島 珠水 行 FAX 018-828-4720	
送信者	所属機関名	
	氏 名	
	電話番号	

令和2年度 秋田県立栗田支援学校 公開研究会 参加申込書

※「参観・参加希望」「弁当注文」「自家用車使用」欄は該当するものを○で囲んでください。

※授業参観、シンポジウムのみ希望の方は参観・参加希望欄にその旨をお書きください。

職 名	氏 名	参観・参加希望	弁当注文	自家用車 使用
		○分科会 小学部 中学部 高等部普通科 高等部環境・福祉科 シンポジウム	注文する 注文しない	有・無
		○分科会 小学部 中学部 高等部普通科 高等部環境・福祉科 シンポジウム	注文する 注文しない	有・無
		○分科会 小学部 中学部 高等部普通科 高等部環境・福祉科 シンポジウム	注文する 注文しない	有・無

※令和2年11月16日（月）まで、この用紙のみを送信してください。